

2月の園の行事といえば・・・

子どもたちがドキドキ・ソワソワと待っている行事。豆まき会(2月2日)があります。今年はどうな鬼が、保育園にやって来るのでしょうか・・・そして、鬼は外～！！とどんな鬼を退治するのでしょうか・・・

節分はいつ？

2月2日は節分、そして3日は立春です。現在は、立春の前日を節分とよんでいます。節分という言葉は、“季節が分かれるとき”という意味で1年に4回ありました。(本来は立春・立夏・立秋・立冬などの前日はすべて節分となります。)



節分の行事はなんのため？

もともとは中国から伝えられた習俗です。春を迎えるにあたって邪気や災難を払い、新しい年の福善を願うものです。春を呼ぶ行事でもあるようです。

豆まき？

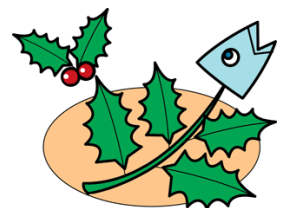
豆まきでは年男(その年の干支の生まれの男性)または一家の主人が「福は内、鬼は外」といながら煎った大豆をまき、みんな自分の年の数だけ豆を食べる(または歳の数+1を食べる)と1年病気にならないと言われています。

なぜ豆をまくのでしょうか？

穀物や、果実には「邪気を払う霊力」があると考えられており、豆をまくことで豆の霊力により邪気を払い、福を呼び込むと考えたといわれています。

いわしの頭？

「鰯(いわし)の頭も信心」などといわれる鰯の頭を焼いて、ヒイラギの枝に刺し、家の入り口に差す風習があります。これも節分の日。これは鰯の頭の悪臭で、邪気が家に入るのを防ぐという意味があります。



恵方巻きとは？

節分に食べる太巻きのことです。節分にその年の恵方に向かって太巻きを丸かじりすると、願い事が叶うや、福がくると言われています。当日のお給食はみんなで恵方巻にかぶりついて、多いに福を呼び込みたいと思います。